

大橋川通信



2007.03
第18号

刊行/
大橋川コミュニティセンター



第7回 大橋川周辺まちづくり検討委員会を開催

源助公園の夜桜

大橋川周辺まちづくり基本計画

委員会案の検討が始まる

大橋川周辺まちづくり検討委員会を開催

第7回大橋川周辺まちづくり検討委員会が2月20日(火)に島根県市町村振興センターで開催されました。

始めに、昨年松江市・島根県・国土交通省出雲河川事務所に提案された「大橋川周辺まちづくり基本方針(委員会案)」を受け、主語を行政とし、内容については提案どおり策定した「大橋川周辺まちづくり基本方針」が報告されました。

次に、「大橋川周辺まちづくり基本計画」の策定の進め方について、基本方針と同様に委員会主導での検討体制や、市民意見交換会など市民意見の反映、大橋川通信やホームページなどによる情報提供を引き続き行っていくことが確認されました。

「大橋川周辺まちづくり基本計画」の策定にあたっては、相互に関連し計画策定の前提条件となっている次の4項目について、問題解決へ向けて議論が進められます。

- ① 護岸形状
 - ② 大橋・新大橋の架け替え
 - ③ 交通動線・公共施設の配置
 - ④ 背後地との高低差解消と空洞化対策
- (地元関係者の意向反映)

また、大橋川改修の代替案として、佐陀川改修など松江市の行政区域で考えられる様々なパターンについて検討した結果が示されました。委員からは検討手法は妥当であり、宍道湖水位H.P.2.5 mの高さを受け入れて検討していかねばならないが、松江の景観を考えると少しでも堤防の高さを低くすることは出来ないかなどの意見が出されました。

大橋川改修に関する環境検討委員会の状況報告

環境検討委員会の道上委員長より大橋川周辺まちづくり検討委員会へ、両委員会が情報の共有を図るため、環境検討委員会の状況について説明が行われました。



第7回「大橋川周辺まちづくり検討委員会」の様子

過去の資料のお問い合わせ先

【大橋川コミュニティセンター】
ホームページからもご覧頂けます。
<http://www.nabe.ne.jp/~comisen>

基本計画で検討する具体的な項目

基本計画では、分かりやすく、目に見えて想像できるものを検討していきます。



主な検討事項の一例（上流部）

基本計画では、上流・中流・下流毎に主な項目について具体的な検討を進めていきます。

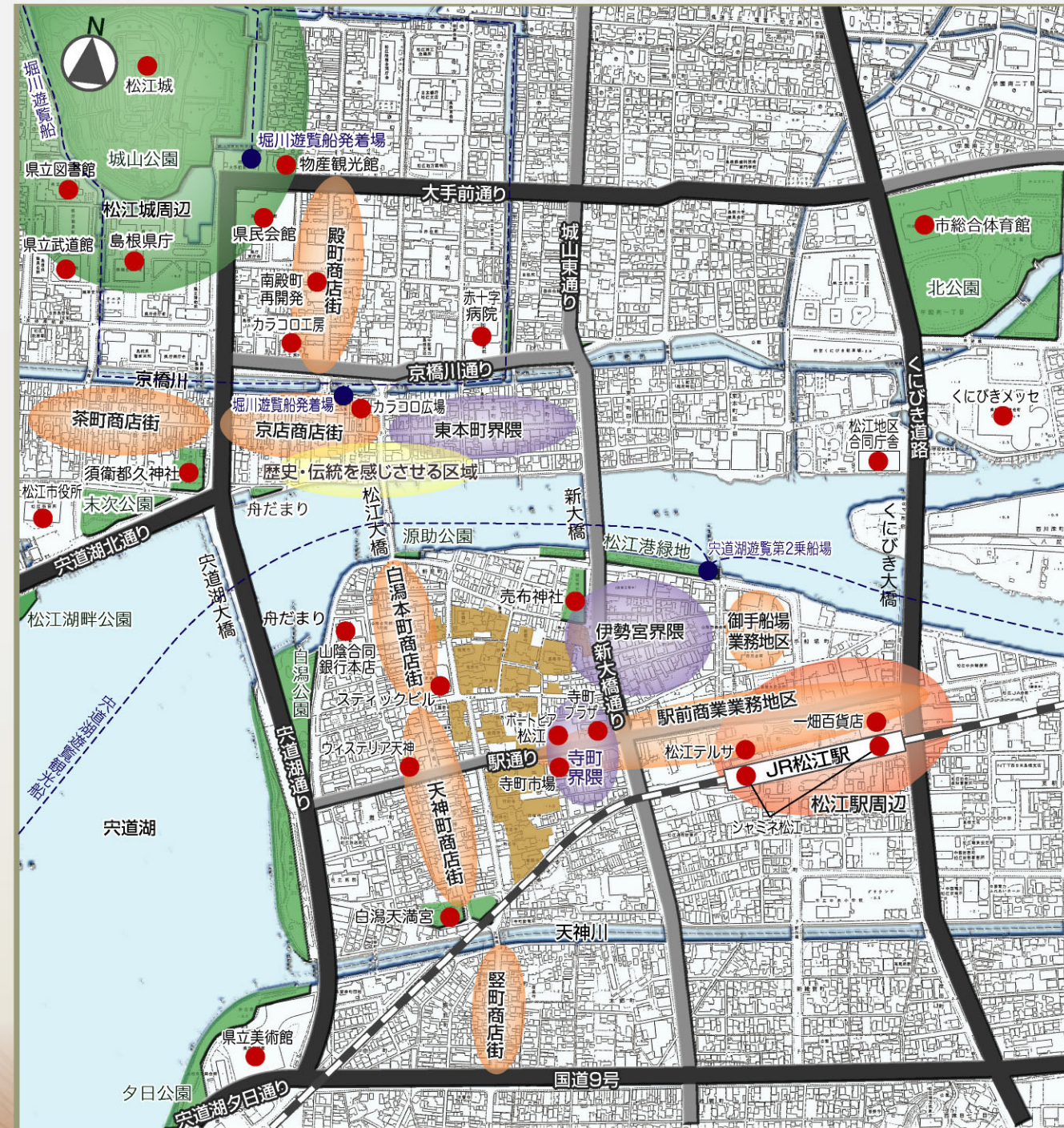
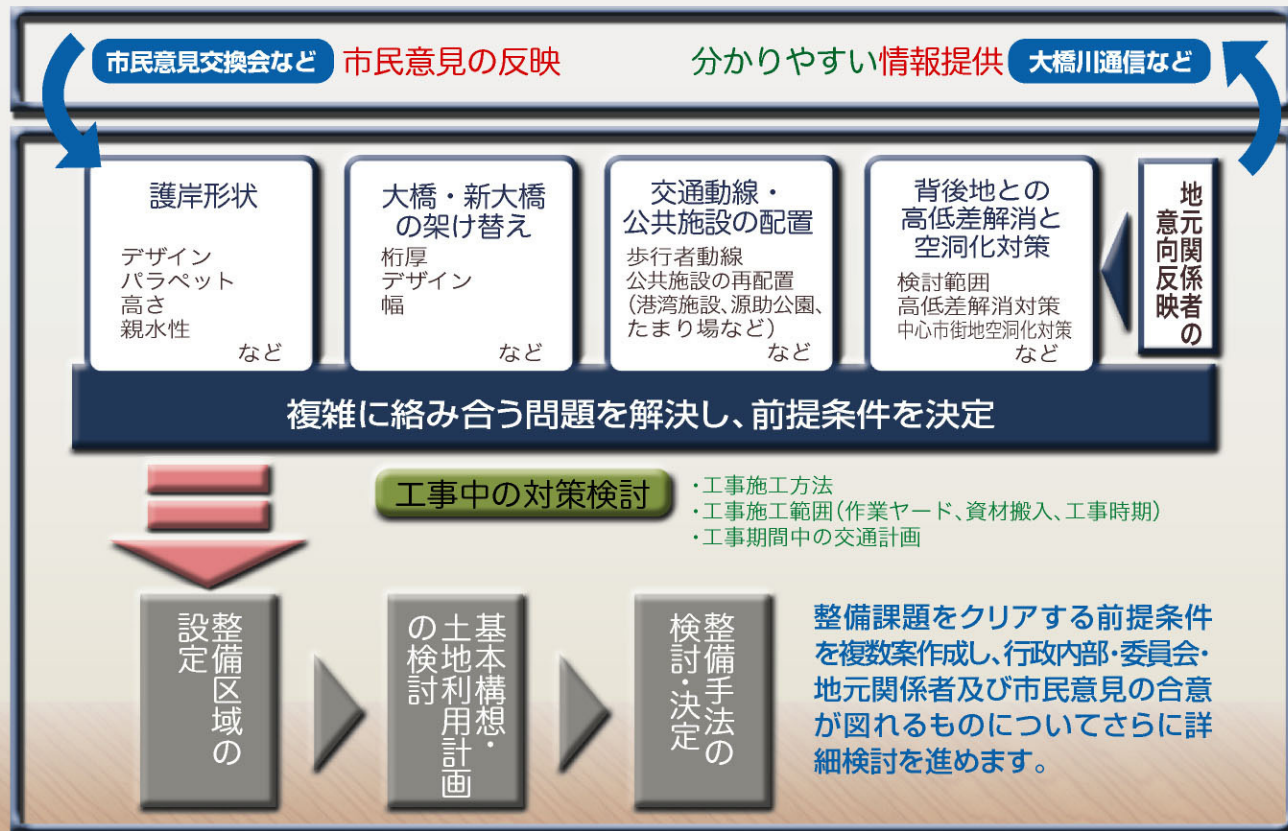
- 人の動線(にぎわいの動線、水辺の動線)
- 車の動線と歩行者優先エリア
- 大橋通りの整備イメージ
- 水上交通拠点
- 背後地の土地利用イメージ

凡例	
	内環状道路
	特徴的な土地利用
	寺町地区の寺社

この図は、上流部における現状を示したものです。

課題解決への道

相互に関連しながら計画策定の前提条件となっている問題を解決することが必要です。



「大橋川改修に関する環境検討委員会」の状況報告が行われました



「大橋川改修に関する環境検討委員会」の状況を説明する道上 委員長

現在、「大橋川改修に関する環境検討委員会」では、水質予測モデルの妥当性について検討を行っている状況である等、委員会の検討事項について道上委員長より状況説明が行われました。

平成18年12月20日(水)に開催された第6回委員会では、「大橋川周辺まちづくり基本方針(委員会案)」について、「大橋川周辺まちづくり検討委員会」の島田委員長より説明が行われ、相互の委員会で情報を共有しながらそれぞれの専門分野で議論が進められています。

大橋川改修に関する環境検討委員会 (平成17年1月26日設立)

◇検討した主な項目

- ・大橋川改修事業環境調査計画書
- ・流動のシミュレーション
- ・水質のシミュレーション
- 等

- ◆環境調査計画の作成(項目・手法の策定)
- ◆環境調査の実施
- ◆環境調査のとりまとめ

情報の共有化

治水と環境とまちづくりが調和した大橋川改修を目指し、情報を共有し検討しています。

大橋川周辺まちづくり検討委員会 (平成17年11月18日設立)

景観専門委員会

(平成17年11月18日設立)

◇検討した主な項目

- ・大橋川周辺まちづくり基本方針(委員会案)

- ◆護岸や橋梁等の水辺環境に関すること
- ◆土地利用を中心としたまちづくり
- ◆沿川地域の活性化に関すること
- ◆その他必要なこと
- ◆景観の観点から専門的な指導・助言

大橋川の今昔

大橋川の見慣れた風景も時代と共に少しづつ姿を変えてきています。「大橋川の今昔」では、大橋川沿川の移り変わりをお宝写真と共に紹介しています。

中州と対岸を行き交う小舟
上段の写真は、松江市西尾町の朝酌川北岸から中州、対岸の東津田町を臨んだ様子です。
写真手前から三艘目の小舟の舳先には、シジミ漁で使用する「じょれん」がみられ、宍道湖・大橋川の恵みを受けながら暮らしていた様子がうかがえます。
また、写真右上には収穫した稲を天日干しする「はで」がみられ、中州に稲作をするため舟で行き交う様子うかがえます。
現在では、近くに松江市立女子高等学校があり、今でもこの辺りの舟だまりには、しじみ舟が数多くみられます。
中州へは、手貝水門を通じて車の乗り入れが出来ますが、中州の水田は現在も変わらず、当時の様子を今に残しています。

昭和30年代 中州と朝酌川に浮かぶ小舟



提供:伊藤英一氏(松江市)

現在の様子



大橋川コミュニティセンター

【開館日】年中無休(年末年始除く) 【開館時間】9:30~16:00 【駐車場】5台程度
〒690-0841 松江市向島町134-4
TEL(0852)28-3621・3622 FAX(0852)28-3623
E-mail:comisen@mable.ne.jp
ホームページ: <http://www.mable.ne.jp/~comisen>



*大橋川コミュニティセンターは、松江市と島根県、国土交通省出雲河川事務所が一体となって管理・運営をしています。

